

中田

保健活動推進員らが合同研修



▲姿勢を意識し、ウォーキングする参加者

生活の中にウォーキング

中田地区の保健活動推進員と食生活改善推進員の合同研修会が7月16日、石森ふれあいセンターで開催されました。研修会には38人が参加。「生活の中に運動を取り入れよう」と題し、健康運動指導士の薄井愛さんを講師に、講話とウォーキングを行いました。薄井さんは「ウォーキングする前に、歩くための筋力を付ける」「腕の振りを意識することで、無理なく続けられる」など、ウォーキングのポイントを解説。「欲張らずに10分のウォーキングから始めましょう」と、参加者にアドバイスしました。

迫

迫っ子サマーキャンプを開催



▲自分たちで焼き上げたピザを切る参加者。おいしくできました

野外炊飯でピザ作り体験

「迫っ子サマーキャンプ」が7月29、30の両日、国立花山青少年自然の家で開催されました。参加者は町内の小学5、6年生31人。迫町ジュニアリーダー「青びつき」の指導を受け、ウォークラリーや野外炊飯を体験しました。野外炊飯ではピザ作りに挑戦。生地を練り、工夫したトッピングのピザを、ドラム缶の窯で焼き上げました。北方小学5年の阿部稔也君(山の上)は「ピザの作り方を参加できなかった友達に教えてあげたい」と、充実した表情で話していました。

鳴子とソーラン節が響く

北海道の学生が演舞披露

8月13、14の両日、YOSAKOI &ねぶた日とよさとのゲストである北海道大学「緑」と北海道武蔵女子短期大学「コンサフリンクミユアキラ」が市内の老人養護施設やふるさと花火長沼で、よさこいの演舞を披露しました。この行事は、北海道のYOSAKOIソーラン祭り、毎年優秀な成績を残している両チームが、広く皆さんに演舞を楽しんでもらうため実施。豊里老人保健施設を訪れた際は、派手なパフォーマンスに泣いて喜ぶ入所者もあり、学生たちの演舞で楽しいひと時を過ごしました。



▲北海道大学「緑」のパフォーマンスを楽しむ入所者

豊里

3B体操でリフレッシュ

子育てに不安を感じている母親が気軽に集える場「わいわい広場」が7月16日、登米児童館で開催されました。今回は、日本3B体操協会の西美喜子さんを講師に招いて「3B体操」を学びました。3B体操とは、三つの道具「ボール」「ベル」「ベルト」を使い、全ての動きを音楽に合わせて行う健康体操です。参加者は、音楽に合わせて体操やダンスで体を動かし、心地良い汗をかきました。参加した高橋祥子さん(日野渡)は、「久しぶりに身体を動かしたので、とてもリフレッシュできました」と話していました。

登米児童館で「わいわい広場」

登米



▲子どもたちも参加し、親子で心地良い汗をかきました

米山

入善町の小中学生が訪問



▲入善町特産の甘みが強いスイカをたくさん食べる子どもたち

2市町の子どもたち、交流

本市と姉妹都市提携を結んでいる富山県入善町の小中学生18人が、8月5日から7日まで本市を訪れ、米山町内の小学生と交流しました。5日に到着した子どもたちは、猛暑の中でも元気がいっぱいです。6日には平沼沼ふれあい公園で、モーターボートに乗ってそのスピードに歓声を上げたり、沼に浮かべられた足場の不安定な発砲ボードの上を渡って自ら沼に飛び込んだり。時間ぎりぎりまで米山町の小学生と楽しんでいました。休憩時間には、入善町からお土産にいただいた特産のスイカを食べ、お互いの交流を深めていました。

東和

錦織地域振興会へ褒状贈呈



▲死亡事故ゼロ2500日を達成し、及川会長(左)へ褒状が贈られました

死亡事故ゼロ2500日

東和町の錦織地区が7月14日で交通死亡事故ゼロ2500日を達成。翌15日に市と登米警察署から褒状が贈られました。東和総合支所で行われた贈呈式には、同町の交通指導隊長や交通安全母の会会長、交通安全協会錦織支部長らが出席。布施孝尚市長から錦織地域振興会の及川登志郎会長へ褒状が贈られました。及川会長は「死亡事故ゼロ2500日達成は関係機関の協力のもと、地域の一人一人が心掛けた結果。1日でも長くこの記録を伸ばしたい」と決意を述べました。同地区では、平成19年9月10日から交通死亡事故が発生していません。